

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ

平成 21 年 2 月 6 日
大阪市立自然史博物館
電話 06-6697-6222

担当：学芸課主任学芸員 金沢 至

特別展「世界のチョウと甲虫」 ～岡村宏一コレクションのすべて～ を開催します

大阪市立自然史博物館では、平成 21 年 4 月 18 日(土)から 5 月 31 日(日)まで、長居公園の花と緑と自然の情報センター2階ネイチャーホールにおいて、特別展「世界のチョウと甲虫」～岡村宏一コレクションのすべて～を開催します。

世界のチョウや甲虫の収集家である岡村宏一氏のコレクションは、大型で美しい種類や珍しい種類の標本ばかりでなく、すべての種・亜種を網羅していることで、昆虫学の研究資料として極めて貴重なものです。

チョウ類・ガ類・甲虫類(カブトムシやクワガタムシの仲間)などの標本が、コレクションの主要部分を形成しますが、中でもチョウと甲虫の標本の質と量は、学術的価値の高い稀有なコレクションとして内外に誇れるものです。

本展では、その標本 3 万点を一挙に公開します。展示ホールに足を踏み入ると、色鮮やかで美しい多種多様な標本に囲まれた昆虫の世界が広がります。

岡村氏は35年以上にわたり、これらの標本を集められ、奥深い自然の創造物を永続的に保存したいと考えておられます。ぜひとも、この機会に標本にうめつくされたホールで、昆虫の多様性の不思議をご覧いただき、豊かな地球の自然について皆で考えてみましょう。

○プレス内覧会を開幕前日の4月17日(金)午前11時より自然史博物館本館集会室で行います。

6ページのプレス内覧会取材申込書にてファックスでお申込ください。

○広報用写真をご用意しています。

7ページの広報写真申込書もファックスでお申込ください。

【開催概要】

- ①名称 第38回特別展「世界のチョウと甲虫」～岡村宏一コレクションのすべて～
- ②会期 2009年4月18日(土)～5月31日(日)
※休館日＝毎週月曜日(ただし、4/27(月)、5/4(月)は開館、5/7(木)は休館)
※開館時間＝9:30～17:00(入場は16:30まで)
- ③会場 大阪市立自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
所在地:〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
最寄駅:地下鉄御堂筋線「長居」3号出口東へ約800m、JR阪和線「長居」東へ約1km
- ④主催 大阪市立自然史博物館
- ⑤後援 大阪府、大阪府教育委員会
- ⑥観覧料 大人400円、高校生・大学生 300円(30人以上団体割引あり)
本館(常設展)入館料(大人300円、高大生200円)とのセット料金は、大人600円、
高大生400円。
※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)は無料。
- ⑦問合せ 大阪市立自然史博物館 TEL:06-6697-6221
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

【岡村宏一コレクション】

平成13年度に、建築工学の権威である岡村宏一氏(元大阪工業大学教授、神戸市灘区在住)から、約35,000点の昆虫コレクションの寄贈を受けました。コレクションの内容は、チョウ類、ベニモンマダラ類(ガ)、クワガタムシ類、カブトムシ類、オサムシ類の標本で、特に世界のチョウと甲虫の標本の数が多く、希少種を多く含み、非常に美事なものです。これらの内、整理が完了したアゲハチョウ類、モルフォチョウ類、ツマベニチョウ類、ベニモンマダラ類、クワガタムシ類、カブトムシ類、オサムシ類については、平成14年3月16日～5月12日に特別展として公開展示しました。

その後整理が進み、前回公開できなかったシロチョウ科の大部分、マダラチョウ科、タテハチョウ科、ワモンチョウ科、ジャノメチョウ科、シジミチョウ科(以上チョウ類)、昼行性ガ類、コガネムシ科、タマムシ科、カミキリムシ科、ゾウムシ科(以上甲虫類)、ビワハゴロモ類の標本を、前回の標本に加えて一挙公開します。

平成14年度以降、平成19年まで、岡村氏は新たに収集されたチョウ類や甲虫類の標本を自然史博物館へ随時寄贈を続けられ、その合計はおおよそ3,600点にのぼります。これらの中には、中国や北ベトナム、インドネシアの離島など、最近では入手が困難になった地域の昆虫を数多く含み、コレクションはさらに充実しました。これらもあわせて公開します。

岡村コレクションの特徴は、美麗種・珍奇種のための標本ばかりでなく、すべてのグループにわたって、できるだけ全種・全亜種を網羅していることで、自然史科学の研究資料として価値の高いものです。また、世界の熱帯林の伐採が進み、自然が破壊されて多様性が急速に衰えている現在、たくさんのチョウや甲虫を市民に見ていただき、豊かな地球の自然についても考えてみる機会を提供します。

【展示内容】

1. 世界のチョウ

- アゲハチョウ類(アロツティトリバネアゲハ、ウンナンシボリアゲハ、雌雄モザイクなど)
- シロチョウ類(中国のシロチョウ類、多数のマダラシロチョウ類、熱帯のシロチョウ類など)
- マダラチョウ類(オオゴマダラ類、ルリマダラ類、アサギマダラ類など)
- タテハチョウ類(世界のオオムラサキ、イナズマチョウ類、フタオチョウ類、ヒョウモンチョウ類など)
- ワモンチョウ類(巨大なワモンチョウ類など)
- モルフォチョウ類(美麗種・珍種など)
- ジャノメチョウ類(ベニヒカゲ類、タカネヒカゲ類、マネシヒカゲ類など)
- シジミチョウ類(ミドリシジミ類、ネッタイミドリシジミ類、ベニシジミ類など)

2. 世界のガ

- ベニモンマダラ類
- 昼行性のガ類(マダラガ類、ヒトリガ類など)

3. 世界の甲虫

- オサムシ類(カブリモドキ類、キンオサ類、ゴミムシ類など)
- クワガタムシ類(エラフスホソアカクワガタ、ニジイロクワガタ、マルガタクワガタ類など)
- コガネムシ類(テナガコガネ類、ゴライアス類、ハナムグリ類など)
- カブトムシ類(ヘラクレスオオカブトムシ、コーカサスオオカブトムシなど)
- カミキリムシ類(シロスジカミキリ類、ベニボシカミキリ類など)
- タマムシ類
- ゾウムシ類(カタゾウ類など)

4. 世界のハゴロモ(セミに近いなかま)

- ビワハゴロモ類(テングビワハゴロモなど)

総出品点数 約 30,000 点

【関連行事】

日本鱗翅学会アサギマダラプロジェクト公開シンポジウム

渡りをするチョウ・アサギマダラについて、アルカロイド類の利用と2008年の調査結果を、わかりやすく解説していただきます。当日、同じ会場で午後1時～3時30分に、日本鱗翅学会近畿支部と渡りチョウを調べる会の合同例会が行われます。

日時:平成21年5月10日(日) 午後3時30分～午後5時

会場:自然史博物館本館 講堂

主催:日本鱗翅学会近畿支部、大阪市立自然史博物館

申込:当日会場へ。どなたでも参加できます。

内容: 1. 「アサギマダラの化学生態あれこれ」・・・本田計一(広島大学教授)

2. 「2008年のアサギマダラの調査成果報告」・・・金沢 至(当館学芸員)

3. 総合討論

【主な展示品 広報写真 素材見本】

1. アロツテイトリバナエゲハ♂

Ornithoptera allotei

ソロモン群島のブーゲンビル島で採集されたオス1頭の標本に基づいて、新種として記載された種類で、現存する標本が数個体しかない希少種。本種は、独立の種類とする説と、ビクトリアトリバナエゲハとアオメガネトリバナエゲハの雑種とする二説がある。本種の名前は、最初の標本を採集した宣教師のアロツテにちなんでつけられている。別名ブーゲンビルトリバナエゲハ。



2. アカエトリバナエゲハ雌雄型

Trogonoptera brookiana (gynandromorph)

アカエトリバナエゲハは、マレー半島、スマトラ島、ボルネオ島などに生息する美麗種。雌雄型とは、1匹がオスとメスの両方の特徴をもつ異常個体で、何万分の一の確率で出現すると言われている。この個体は、左がオスで右がメスの完全左右雌雄型である。



3. アルギラベニモンマダラ(ガ)

Zygaena algila

アルジェリア～モロッコの標高 2000メートル以上の高地で採集されている。岡村コレクションには3頭の Paratypes (副模式標本)が含まれる。



4. シラフゴライアスハナムグリ

Goliathus orientalis orientalis

大型のハナムグリ類の一種で、ザイール南東部、アンゴラ北部、タンザニア西部、ザンビアに生息する。背面に美しい白色のゴマダラ模様をそなえる。



5. エラフスホソアカクワガタ

Cyclommatus elaphus

スマトラに生息するクワガタムシで、大アゴの付け根のオレンジ色が美しい。学名はシカを意味する。



6. ヘラクレスオオカブトムシ

Dynastes hercules

体長 50mm～165mm。中南米に生息する世界で最も体長の大きなカブトムシ。体長の半分近くをしめる長い角はメスやエサ場をめぐる闘争に使われる。

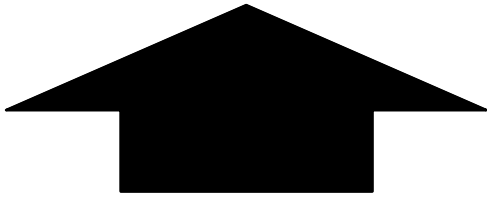


7. テングビワハゴロモ

Pyrops candelaria

分類学の始祖といわれているリンネの記載した種で、「candelaria」とはろうソクの意味である。インドシナ半島では、体の表面に分泌されるろう状物質を集めて、ろうソクを作ったと言われている。中国南部～タイ～インドシナ半島～アッサムに生息する。





<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館
 管理課広報 宛
 TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225
 〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

FAX. 06-6697-6225

特別展「世界のチョウと甲虫」

プレス内覧会 取材申込書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、事務局宛にFAXにてご返信ください。またお手数ですが、掲載媒体を2部（DVD、ビデオ、カセット、MDなどは1本）、お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ プレス内覧会

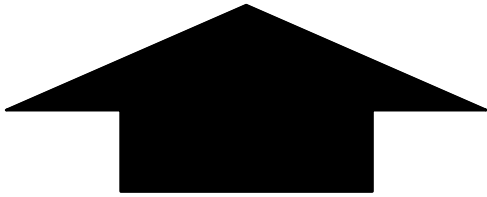
[日時]2009年4月17日(金)
 午前11:00～

[会場]大阪市立自然史博物館
 本館1F 集会室

※プレス内覧会にお越しの方は、
 博物館通用口からお入りください。
 駐車スペースもございます。



貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. _____ FAX. _____ e-mail. _____



<FAX送信>

FAX. 06-6697-6225

送信先：大阪市立自然史博物館内

管理課広報 宛

TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

特別展「世界のチョウと甲虫」

広報写真申込書

本展覧会の広報用写真をご用意しております。ご希望の写真に○印をつけ、下記にご記入の上、ご返信ください。

- ・写真使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。尚、本展終了後の使用は出来ませんのでご了承ください（掲載期間：2009年5月31日まで）。写真の使用後は、データは破棄してください。
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、グラ刷り・原稿の段階で管理課広報宛までFAXまたはメールをお送りください。また、ご掲載いただいた場合は、お手数ですが、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、DVD、ビデオ、カセット、MDなど）を管理課広報宛にお送り下さい。

No	写真名	ご希望に○
①	アロツェトリバネアゲハ	
②	アカエリトリバネアゲハ	
③	アルギラベニモンマダラ	
④	シラフゴライアスハナムグリ	
⑤	エラフスホソアカクワガタ	
⑥	ヘラクレスオオカブトムシ	
⑦	テングビワハゴロモ	

貴社名	
媒体名／発行部数	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.